

事業年度

1月1日～12月31日

期末配当金受領株主確定日

12月31日

中間配当金受領株主確定日

6月30日

定時株主総会

毎年3月

株主名簿管理人、特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒183 - 0044 東京都府中市日鋼町1-1
お問合せ先：0120-232-711

上場証券取引所

東京証券取引所JASDAQ市場

公告の方法

電子公告により行う

公告掲載URL <https://www.convum.co.jp>

(ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

ホームページのご案内



当社は、ホームページにてIR情報をはじめとして、企業情報を随時更新しております。ぜひご覧ください。

株式会社 **妙徳**
Myotoku Ltd.

〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号
TEL 03-3759-1491 (代表)



株式会社 **妙徳**
Myotoku Ltd.

証券コード TSE：6265

第69期 事業報告書

2019年1月1日～2019年12月31日



人を大切にし、創造性豊かなアイデアと顧客ニーズの融合により
豊かな価値を作り出し、社会貢献に努めます。

妙徳グループ



企業理念

- お客様を大事にする
- 最適な労働環境の整備を通じて従業員一人一人が安心して働ける職場作り
- 各人のアイデアと顧客ニーズの融合による開発をモットーとする
- 他社との提携を推進し、これにより得られた利益は分け合う
- ガラス張りの経営
- 職場内のコミュニケーション(報・連・相)の重視
- 仲間同士が信頼しあう職場作り

株主のみなさまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また平素から格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに、第69期（2019年1月1日～2019年12月31日）の事業概況を謹んでご報告いたします。



「コンバム・パッドNo.1」をスローガンに、
魅力ある製品づくりを通じて、社会から信頼される企業、
継続的な企業成長を目指してまいります。

代表取締役社長 伊勢 幸右

Q1 第69期の業績についてご説明ください。

第69期の連結売上高については2,294百万円（前年同期比83.4%）となりました。国内市場においては、製造工程の省人化、自動化設備導入の需要を背景に、ロボットハンド関連製品の拡販と食品梱包業界、電子部品業界の需要取り込みを中心に営業活動を展開してまいりました。半導体関連業界については回復の兆しが見え始めましたが、米中貿易摩擦問題の影響を受け、生産設備全般の需要が縮小しました。この結果、売上高は1,610百万円（同84.4%）となりました。

海外については、韓国市場では、半導体製造装置業界や液晶関連設備業界への製品投入を行いながら、

一般産業機器の自動化装置への拡販活動を行い、引き続き現地生産品の拡充も取り組みました。この結果、売上高は405百万円（同83.8%）となりました。中国市場では、継続的な貿易摩擦問題による設備投資の縮小の影響を受け、売上高は137百万円（同70.8%）となりました。その他では、タイ国では、タイ国及び周辺諸国での自動化設備への拡販活動を引き続き推進し、タイ国内では自動車及び食品関連設備へのロボット関連製品の投入を積極的に行いました。また、米国子会社においては新規顧客開拓と、既存販売店への拡販活動を行いました。この結果、売上高は141百万円（同84.6%）となりました。

利益面については、連結経常利益は229百万円（同54.3%）、親会社株主に帰属する当期純利益は147百万円（同47.6%）となりました。

Q2 今期の見通しと、主な取り組みについてお聞かせください。

2020年12月期の連結業績予想は、連結売上高2,294百万円、連結経常利益238百万円、親会社株主に帰属する当期純利益155百万円を見込んでおります。これらの目標を達成するため、以下の取り組みを実施してまいります。

営業、開発面においては、これまで培ってきた真空吸着のノウハウの継承と新しい技術革新のために、人材教育に力を入れて体制強化を図ってまいります。グループ全体で、オンリーワン製品の開発をモットーに他社との差別化を図り、シェア率拡大を目指します。また、引き続きロボット関連の市場ニーズをつかみ、ロボットハンド（ロボットの手となる部分）

の開発を進め、多様化するロボットシステムインテグレータとの連携を積極的に展開する取り組みを行ってまいります。また、当社の主力製品の基礎研究の強化を継続し、IoTやAI等の市場要求に対応した製品の開発と実用化を目指してまいります。需要拡大のためには益々海外現地法人を活用したグローバルな展開が必要であり、海外売上高比率50%を指標とした取り組みをいたします。

製造面においては、設備投資を積極的に行い、製造効率の改善のための自動化装置の導入、社内システムの改善を行い、納期対応力の強化を継続し、価格競争力の強化と品質部門強化による顧客満足度の向上を目指します。併せて、人材不足問題に対し、製造部門での安全と働く環境の整備にも取り組んでまいります。

このような方針のもと、第69期の配当につきましては、中間配当金を1株あたり20円00銭、期末配当金を1株あたり20円00銭（年間40円00銭）とさせていただきますことといたしましたので、何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

株主の皆さまのご期待に沿えるよう、経営目標達成のために全力を挙げて取り組んでまいりますので、引き続き変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

Q3 最後に株主の皆さまへメッセージをお願いいたします。

妙徳グループは、株主の皆さまならびにステークホルダーの方々のご期待に応えるため、持続的な成長と企業価値の向上に努めてまいります。そのためにはメーカーとしての根幹である、新製品開発と市場投入を積極的に推し進めていきます。

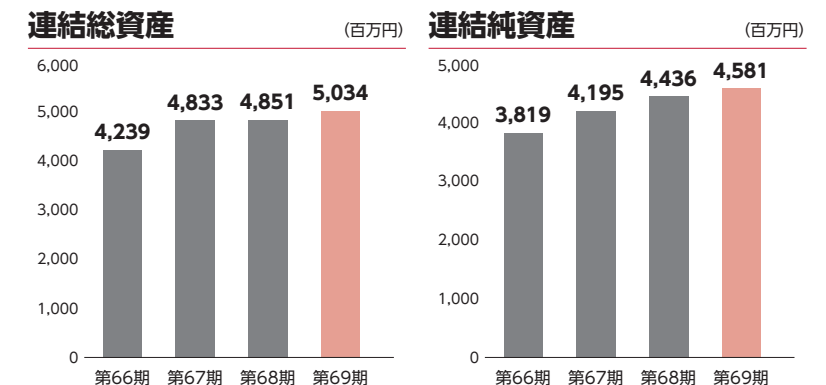
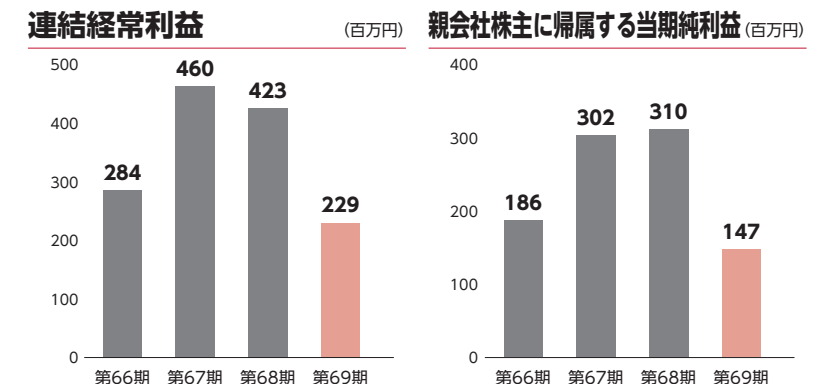
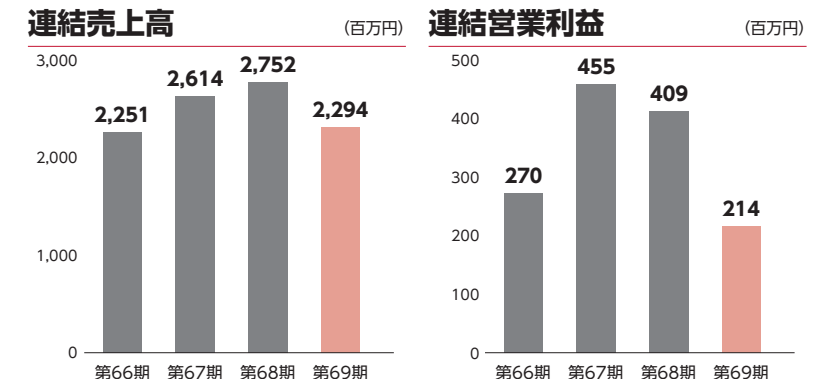
株主の皆さまへの利益配分につきましては、業績に応じた株主還元を基本方針とし、連結配当性向25%を目標としております。

売上高
22億94百万円
(前年同期比 16.6% 減)

営業利益
2億14百万円
(前年同期比 47.7% 減)

経常利益
2億29百万円
(前年同期比 45.7% 減)

親会社株主に帰属する当期純利益
1億47百万円
(前年同期比 52.4% 減)



(注)「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号2018年2月16日)を第69期の期首から適用しており、第68期については、遡及適用後の数値を記載しております。

コンバム 売上高 7億4千6百万円



世界的な設備投資需要の減少により、半導体製造装置をはじめ各種自動機の新規需要が減少したことにより、当期の連結売上高は746百万円となりました。全製品に占める売上高構成比は、圧力センサ及びFA機器その他の構成比率の減少により32.5%となり、前年同期比1.4ポイント上昇いたしました。

圧力センサ 売上高 1億7千7百万円



コンバム同様、半導体製造装置向けの需要が減少いたしました。この結果、当期の連結売上高は177百万円となりました。また、売上高構成比は7.7%となり、前年同期比2.3ポイント低下いたしました。

吸着パッド 売上高 11億4千6百万円



設備投資需要の減少と設備稼働率の悪化の影響を受け、メンテナンス需要が低迷いたしました。ロボット関連業界に対しての新製品の積極投入を展開いたしました。当期の連結売上高は1,146百万円となりました。売上高構成比は50.0%となり、前年同期比3.2ポイント上昇いたしました。

FA機器その他 売上高 2億2千4百万円



新規設備需要の減少と各種自動機の設備稼働率低下を受け、真空関連機器及び真空ポンプ等の一般設備機器の売上高が減少いたしました。また、フラットパネルディスプレイ関連業界向けの浮上搬送ユニットについても、需要が低迷いたしました。この結果、当期の連結売上高は224百万円となりました。売上高構成比は9.8%となり、前年同期比2.3ポイント低下いたしました。

CONVUM®



CONVUM®は圧縮空気を利用して真空(負圧)を発生させる真空発生機器です。圧縮空気をノズルから放出(エジェクト)させることから「エジェクタ」又は「エジェクタポンプ」と呼ばれます。

About CONVUM®

CONVUM® **コンバム**とは**コン**プレッサからの圧縮空気で**バ**キューム(真空)を発生させることをイメージして創りだした造語です。CONVUM®は当社の登録商標です。

PAD

パッドはコンバム等の真空発生機器より得られる真空(負圧)を利用してワーク(吸着物)を吸着し、持ち上げる製品です。「パッド」の他、「バキュームパッド」「サクシオンパッド」「サクシオンカップ」「カップ」とも呼ばれています。パッドは人間で例えると「手」(または指)とも言えます。



SENSOR



気体や液体の圧力の変化を内部の感圧素子にて測定し電気信号に変換、出力するものです。当社の圧力センサは空気圧を対象とし、吸着確認・着座確認・元圧管理などさまざまな用途に使用されています。

Robot-hand



各種ロボットに取付けるロボットハンドです。各ロボットメーカーの各種ロボットへ取付け可能なフランジを多数用意しているため、お客様での設計が不要で、すぐにお使いいただくことが可能です。

当社の製品は、FA（ファクトリーオートメーション）機器として、様々な業種の製造工程や装置に組み込まれご使用いただいています。

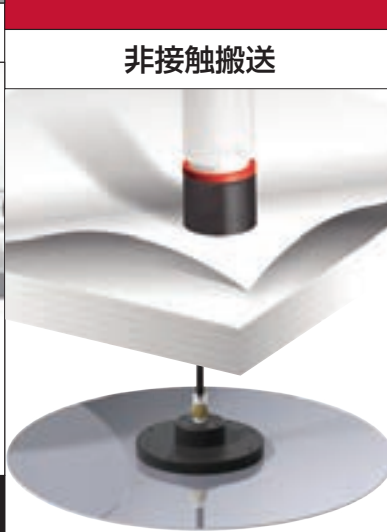


取付・プレス

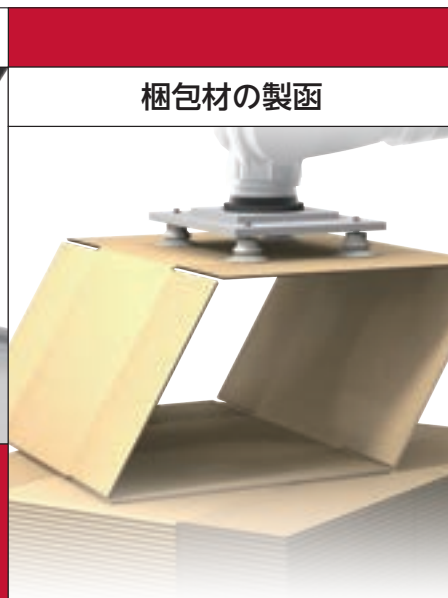


食品の吸着搬送

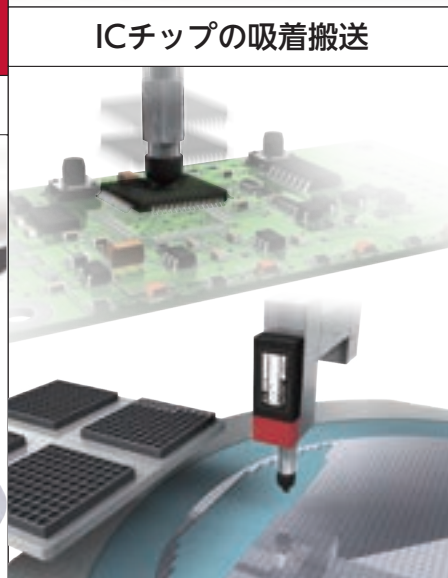
妙徳の製品や技術は様々な産業の生産現場で活躍。生産の自動化と品質の向上に貢献しています。



非接触搬送



梱包材の製函



ICチップの吸着搬送

トピックス 展示会をターゲットに、新製品を開発

当社は、昨年12月に国内最大級のロボット関連の展示会である「2019 国際ロボット展」に出展いたしました。ロボットを自動化装置で最大限活用するためには、対象物を目的に合わせて搬送することが必要不可欠です。当社の真空吸着技術を応用したロボットハンドはお客様のニーズに合わせた開発を行っており、多数の反響をいただきました。展示会では引き続き、各ロボットメーカーと協賛し、各ロボットの特性を生かしたデモ機で実用的なアプリケーション事例を実演いたしました。

今後需要が高まる小型の協働ロボット向けに、小型電動ロボットハンド「e・ハンド」を展示し、注目を集めました。真空ポンプと圧力センサを内蔵し、ロボットへも容易に取り付けることができるロボットハンドです。また、ロボットの小型、軽量化に伴い、既存のロボットハンドを軽量化したラインナップも出展いたしました。今後も引き続き、展示会に積極出展を行うことと同時に、動画による新製品紹介やアプリケーション事例の紹介へ展開し、拡販活動を実施してまいります。

小型電動ロボットハンド「e・ハンド」



2019 国際ロボット展 当社ブースの様様



(2019年12月31日現在)

連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	第68期	第69期
	2018年12月31日現在	2019年12月31日現在
資産の部		
流動資産	2,616,596	2,743,094
固定資産	2,234,651	2,290,943
資産合計	4,851,247	5,034,038
負債の部		
流動負債	271,085	300,585
固定負債	143,757	151,955
負債合計	414,842	452,541
純資産の部		
株主資本	4,307,857	4,404,217
その他の包括利益累計額	103,389	147,091
新株予約権	2,077	1,810
非支配株主持分	23,080	28,377
純資産合計	4,436,405	4,581,497
負債及び純資産合計	4,851,247	5,034,038

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科目	第68期	第69期
	2018年1月1日～ 2018年12月31日	2019年1月1日～ 2019年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	259,700	626,820
投資活動によるキャッシュ・フロー	△182,412	△153,866
財務活動によるキャッシュ・フロー	22,001	△52,172
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,335	△4,058
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	88,954	416,722
現金及び現金同等物の期首残高	1,123,253	1,212,207
現金及び現金同等物の期末残高	1,212,207	1,628,930

連結損益計算書

(単位：千円)

科目	第68期	第69期
	2018年1月1日～ 2018年12月31日	2019年1月1日～ 2019年12月31日
売上高	2,752,064	2,294,628
売上総利益	1,464,424	1,234,553
営業利益	409,580	214,186
経常利益	423,189	229,606
税金等調整前当期純利益	423,302	222,970
当期純利益	318,206	151,542
非支配株主に帰属する当期純利益	7,335	3,692
親会社株主に帰属する当期純利益	310,870	147,849

連結包括利益計算書

(単位：千円)

科目	第68期	第69期
	2018年1月1日～ 2018年12月31日	2019年1月1日～ 2019年12月31日
当期純利益	318,206	151,542
その他の包括利益：		
その他有価証券評価差額金	△68,838	65,024
為替換算調整勘定	△28,455	△19,718
その他の包括利益合計	△97,294	45,305
包括利益	220,912	196,848
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	213,759	191,551
非支配株主に係る包括利益	7,153	5,297

会社概要

社名	株式会社 妙徳
創立（設立）	1951年4月16日
資本金	7億4,812万5千円
本社所在地	〒146-0092 東京都大田区下丸子2丁目6番18号 TEL：03-3759-1491（代表）
国内事業所	岩手、東京、大阪、名古屋、福岡
連結子会社	妙徳空覇陸機械設備(上海)有限公司 妙徳韓国株式会社 CONVUM (THAILAND) CO.,LTD. CONVUM USA,INC.
従業員数	136名（連結従業員数）
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ市場
会計監査人	東陽監査法人

役員の状況 (2020年3月24日現在)

代表取締役社長	伊勢 幸治
専務取締役	角野 充彦
常務取締役	庄瀬 元洋
取締役	佐藤 穰
取締役	泉 陽一
取締役	岩元 武継 *
取締役	平野 実 *
常勤監査役	小畑 光伸
監査役	松本 博之 *
監査役	川野上 一春 *

*印は、それぞれ社外取締役、社外監査役です。

株式の情報

発行可能株式総数	発行済株式総数	株主数
6,600,000株	1,657,000株 (その内自己株式 114,331株)	883名 (前期末比 107名減)

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
伊勢興産株式会社	282,760	18.33
伊勢 すが子	126,020	8.17
岡部 由枝	112,000	7.26
伊勢 幸治	82,410	5.34
光通信株式会社	49,800	3.23
妙徳従業員持株会	49,450	3.21
MTAsia株式会社	36,000	2.33
神谷 信一	30,000	1.94
株式会社日伝	28,000	1.82
伊勢 三郎	25,325	1.64

(注) 1. 当社は自己株式を保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は発行済株式総数から自己株式数を控除して計算しております。

株価チャート

